

# 患者さん及び代諾者の方へ

## 「神戸こども初期急病センターにおけるトリアージの有用性の研究」 について

### はじめに

今回、神戸こども初期急病センター(当センター)を受診された患者さんのカルテ情報をもとに、受診された患者さんの重症度を評価するトリアージシステムの有用性について研究を行います。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

### 1. 研究概要および利用目的

当センターには、非常に多くの患者さんが来院します。その中には、病状が軽い方から重い方まで様々な状態の患者さんがいます。病状が重い、重症の患者さんは緊急に診察して、必要に応じて入院可能な施設へ送る必要がありますが、単純に受付順で診察を行うシステムでは重症の患者さんの診察までの待ち時間が長くなります。そのため当センターでは、医師の診察前にバイタルサインを測定したりして、重症度を簡易に分類するトリアージシステムを導入しています。

本研究は、当センターのトリアージシステムが、適切に患者さんの重症度を評価し、重症度に応じた対応ができていないかを検討します。これにより、現在導入しているトリアージシステムの有用性について研究します。

### 2. 研究期間および対象患者さん

2010年12月(センター開設日)から2022年3月31日の期間に、当センターを受診され、親権者より診療録(カルテ)データの使用に関し同意をいただいた患者さんを対象とし、カルテに登録されている情報を元に研究を行います。本研究は2023年3月31日まで実施いたします。

### 3. 取り扱うデータ

患者背景:年齢、性別、受診した日時、受診時の臨床的所見(バイタルサイン、診察所見)、トリアージ情報、検査を行っていた場合はその検査結果、返書に記載内容(入院の有無、入院時病名、退院時病名))。

#### 4. 個人情報保護の方法

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。それらのデータは当センターにおいて厳重に保管します。

#### 5. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が、今後の初期救急医療の体制の改善に役立つと考えられます。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

#### 6. 研究終了後データの取り扱いについて

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

#### 7. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

#### 8. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、ご希望に対応できない場合もあります。

#### 9. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学医学部附属病院小児科こども急性疾患学部門 栗野宏之

連絡先：078-382-6090（小児科医局）

\*本研究に関する情報は神戸大学医学部附属病院のホームページにも概要を掲示しております。（以下にアクセスしてください。）

URL : <http://www.med.kobe-u.ac.jp/pediat/research/kodomo.html>